



サウンド共聴システム ベータフォンⅡ
Sounds Sharing System β fon-Ⅱ

取扱説明書

ベータフォンⅡ FM 送信機
(β fon-Ⅱ FM Transmitter)

MODEL BFT-260

KENZMEDICO

はじめに

この度は弊社製品をご購入いただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、たたく安全にお使ください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(⇒3)を必ずお読みください。
- 保証書は本書最後の頁にございます。「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、大切に保管してください。

■本書内の表現について

- 参照していただくページを(⇒〇〇)で示しています。
- イラストや画面表示は実物とは異なる場合があります、ご了承ください。
- ベータフォンⅡ FM 送信機は、単に「送信機」と記載しています。
- ベータフォンⅡ FM 受信機は、単に「受信機」と記載しています。

■本機の特徴

本機は微弱電波を利用した FM 送信機及び受信機より構成され、簡単に様々なサウンド(音源)を共聴できるよう設計されています。

電波の届く範囲は半径5メートル程度ですが、条件によりさらに広い範囲でお使いいただける場合もございます。

※金属製の遮蔽物などがあつたりした場合は届く範囲は狭くなりノイズ等も発生することもあります。

基本構成は送信機:1台に対して受信機:1台ですが、送信機及び受信機は規模に応じて1台単位で増設できます。

送信機は数か所同時に使用すると混信しますので、送信機及び受信機の周波数は7チャンネル設定できるように設計されております。従って最大7か所同時に使用できます。

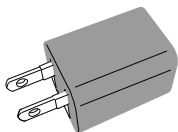
もくじ

付属品 / 補充品	2
ご使用上の注意	3
各部の名称及び働き	4
操作手順	
通常動作	5
チャンネル設定動作	6
充電動作	7
仕 様	
基本仕様	8
チャンネル番号と送信周波数の対応	9
POWER/Charge:LED 表示状態	9
故障かな? / お手入れ	10
保証書	11

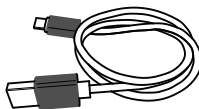
付属品 / 補充品

付属品

充電器



AC アダプター

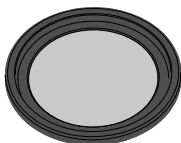


充電用 USB ケーブル

アンテナ線







補充品











ダイアフラム (品番: 1137D021)

ご使用上の注意

 警告	「死亡や重症を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

 してはいけない内容です。	 実行しなければならない内容です。
--	--

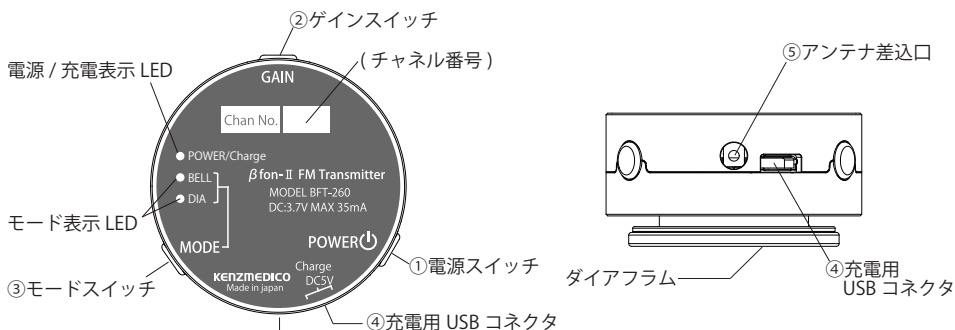
 警告	
	「ACアダプター」は商用電源 AC100-240V 50/60Hz 以外に絶対に使用しないでください。

 注意	
	充電したまま長時間放置しないでください。
	付属品の充電器以外は使用しないでください。
	分解は絶対にしないでください。故障の原因になります。
	ご使用前には充電を行ってください。
	充電する際は、周りに燃えやすいものを置かないでください。
	充電中に異臭がした場合は直ちにコンセントから「ACアダプター」を引き抜き充電を中止してください。
	保管する場合は、本体から充電器及びケーブルは取り外してください。

廃棄

廃棄する場合は、自治体の法令に従って廃棄してください。

各部の名称及び働き



⑤アンテナ差込口		
名 称	働 き	
① 電源スイッチ	電源のオン及びオフ操作を行います。 ※電源オフは長押し（約1秒）で動作します	
② ゲインスイッチ	モード毎にマイクのゲインを3段階で切替えます。 ※表示はありません	
③ モードスイッチ	押す毎にベル（BELL）またはダイアフラム（DIA）モードに切替えます。 （BELL→DIA→BELL・・・）→モード表示LEDと連動（⇒8） BELL 高音をカットし心音など低音を聴くのに適した設定 DIA 低音をカットして呼吸音など中高音を聴くのに適した設定 ※解説音声などはこちらのモードにすると良く聴こえます。	
④ 充電用 USB コネクタ	付属の<充電器セット>を接続して充電を行います。 ※充電は電源がオフの状態が可能です。	
⑤ アンテナ差込口	付属の<アンテナ線>を接続します。 ※電源を入れる前に接続しておいてください。	
電源 / 充電表示 LED	通常動作の状態及び充電動作の状態を表示するLEDです。（⇒8）	チャンネル設定動作ではこの3個のLEDがセットで使用されます。（⇒6）
モード表示 LED	現在設定されているモード状態を表示します。 ●BELL(点灯)：ベルモード ●DIA(点灯)：ダイアフラムモード	
(チャンネル番号)	管理用に必要に応じてチャンネル番号をシールなどの記載して貼り付けてください。	

操作手順

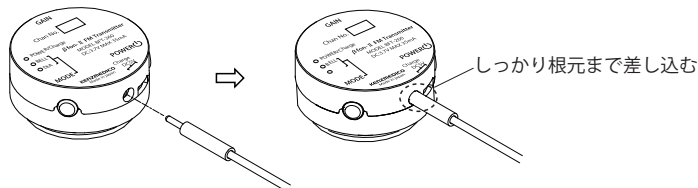
本器の動作は以下に示す三つになります。

- 通常動作：電源を入れてFM電波による送信動作を行います。
- チャンネル設定：1～7チャンネルのいずれかに設定します。(⇒6)
- 充電動作：内臓バッテリーの充電を行います。(⇒7)

□通常動作

(1) アンテナの接続

電源を入れる前に「アンテナ線」は接続しておいてください。



(2) 電源の投入

- ・「電源」スイッチを押す



○POWER/Charge

●BELL

○DIA

※3個のLEDの点滅で現在設定されている<チャンネル番号>を表示(⇒6)
(チャンネル2の例)

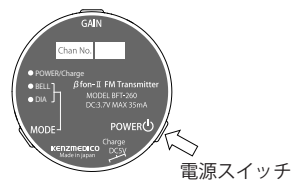
↓ (約1.5S)

●POWER/Charge点灯 (青)

●BELL

○DIA

} 現在設定されている<モード>が点灯



(3) 動作確認

準備ができたら適度な音源に「ダイアフラム」あてて受信機で聞こえるか確認します。必要に応じて「ゲイン」スイッチ及び「モード」スイッチを操作して適切な設定を選択してください。

※音が聞こえない場合は、「受信機」のチャンネル番号と「送信機」のチャンネル番号が合っているか確認してください。

⚠ 注意



・ダイアフラムを叩いたりして衝撃を与えないでください。

操作手順

□チャンネル設定

(1) 設定動作へ

①「ゲイン」と②「モード」スイッチを押して保持します。

続いて③「電源」スイッチを押します。



・チャンネル設定にエントリー

●POWER ……点灯 (紫) - 約 1 秒点灯



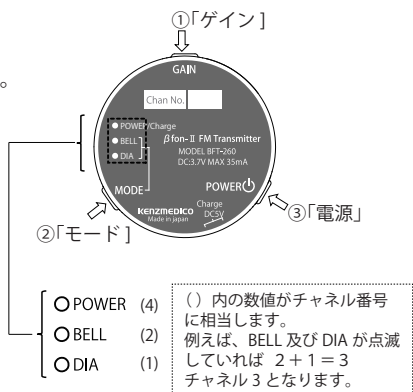
・現在設定されているチャンネル番号を点滅表示

○POWER

●BELL

●DIA

} チャンネル 3 の例

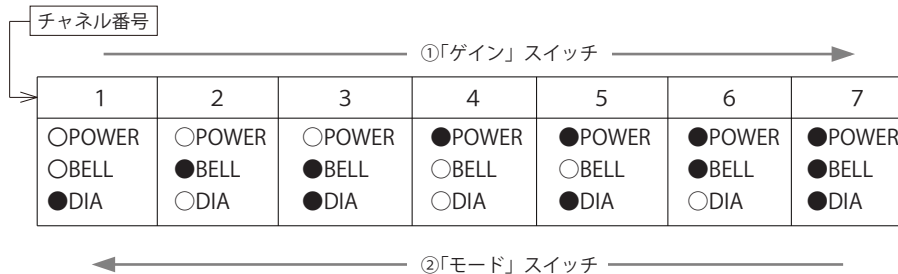


(2) チャンネル設定

①「ゲイン」または②「モード」スイッチを押してチャンネル番号を変更します。

・①「ゲイン」スイッチは 1 ステップずつ増加し、<7> に達すると <1> に戻ります。

・②「モード」スイッチは 1 ステップずつ減少し、<1> に達すると <7> に戻ります。



(3) 設定終了

③「電源」スイッチを押します。

※現在設定されているチャンネル番号が保存されます。

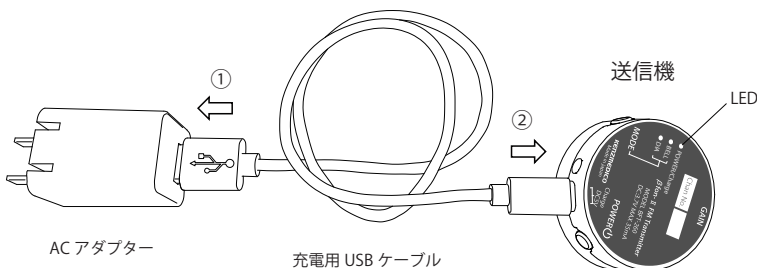


「通常動作-(2) 電源の投入」直後の状態へ移行します。

操作手順

□充電動作

- ①「AC アダプター」に「充電用 USB ケーブル」の片側を接続します。
- ②「送信機」の「充電用 USB コネクタ」に「充電用 USB ケーブル」の小さい方のコネクタを接続します。



⚠ 注意

「充電用 USB ケーブル」のコネクタには上下の方向性があります。



- ・「AC アダプター」側  USB 記号が上になるように挿し込みます。
- ・「送信機」側  ツメがある面を上側に

- ③「AC アダプター」を商用電源 AC100-240V のコンセントに差し込みます。
自動的に充電が始まります。

- ・ POWER/Charge LED(赤) : 点滅 (1s 間隔) 充電中
↓ (約 2 時間)
- ・ POWER/Charge LED(赤) : 点灯 充電完了

⚠ 警告



「AC アダプター」は商用電源 AC100-240V 50/60Hz 以外に絶対に使用しないでください。

⚠ 注意



- ・ 充電中は周りに燃えやすい物を置かないでください。
- ・ 充電中に異臭がしたら直ちに「AC アダプター」をコンセントから引き抜き充電を中止してください。
- ・ 充電が完了したら長時間放置しておかないでください。

仕 様

■基本仕様

項 目		仕 様 等		出荷時
外 観／重 さ		直径：φ48mm、高さ (H)：25mm / 重さ：66g (本体のみ)		
環 境	使 用	温度：10℃~45℃ 湿度：15~85%RH(結露なきこと)		
	充 電	温度：0℃~45℃ 湿度：15~85%RH(結露なきこと)		
	保 管	温度：-10℃~45℃ 湿度：15~85%RH(結露なきこと)		
電 気 的 定 格	バッテリー	DC3.7V 150mA/h	リチウムポリマー電池 充電回数：500回 充電時間：約2時間 (0.5C 充電)	
	消費電流	32mA		
	動作時間	約4.5時間 (※1時間で自動的にオフ)		
操 作 ス イ ッ チ	POWER	電源のオン及びオフ操作を行う「電源スイッチ」。		
	GAIN	「ゲイン」スイッチ・・・3段階切換え L:Low、M:Middle または H:High		L
	MODE	「モード」スイッチ ベル (B) またはダイアフラムモード (D) の切換え		B
チャンネル設定		上記3個のスイッチの組合せ操作により 1~7チャンネルに設定 (⇒6)		1 *1
表 示 (LED)	POWER/ Charge	2色LED (赤、青) による状態表示 (⇒9)		
	BELL (赤) DIA (青)	「モード」スイッチにより現在されているモードを表示 ※点灯しているLEDが設定されているモードを示す		
電 波	送信周波数	100MHz から 200KHz ステップで最大7波 (⇒9)	100MHz *1	
	強 度	500μV/m 以下 (微弱電波適合)		
	変調方式	単方向 FM変調 モノラル		
状態保持		<GAIN> 及び <MODE> は最後に設定された状態が保持されます。		

(注)

*1: 出荷の際は、標準チャンネルは <1> に設定して出荷されます。

仕 様

■チャンネル番号と送信周波数の対応

チャンネル番号	周波数 (MHz)	チャンネル番号	周波数 (MHz)
1	1 0 0.0	5	1 0 0.8
2	1 0 0.2	6	1 0 1.0
3	1 0 0.4	7	1 0 1.2
4	1 0 0.6		

■POWER/Charge:LED 表示状態

動作区分	LED		状態		時間 (s)	備 考
	赤	青	点滅	点灯		
電源オン		●		○	1.0	動作開始→動作中へ
	●		○		0.4	メモリリードエラー発生 ※出荷時の状態で通常動作へ
動作中		●		○	—	正常動作中
	●		○		*1	バッテリー残量が少ない
	●		○		*2	即充電
充電中	●		○		*3	充電中
	●			○	—	充電完了
電源オフ						消灯
チャンネル設定	●	●		○	1.0	チャンネル設定モードにエンタリー

点滅パターン

*1：消灯 (0.8s) - 点灯 (0.2s) - 消灯 (0.2s) - 点灯 (0.2s) - 消灯 (0.8s)・・・繰り返し

*2：点灯 (0.2s) - 消灯 (0.2s)・・・繰り返し (早く点滅)

*3：点灯 (0.8s) - 消灯 (0.8s)・・・繰り返し (ゆっくり点滅)

故障かな？／お手入れ

□故障かな？


症 状	対 策
電源が入らない	充電を行ってください。(⇒7)
音が聞こえない	・お持ちの受信機全てで聞こえない場合 本器のチャンネルを受信機のチャンネル番号に再設定してください。 ・特定の受信機のみ聞こえない場合 受信機側のチャンネル番号を確認してください。
ノイズが多い	・電波を遮るような金属製の遮蔽物はありませんか？ ・送信機と受信機の距離が離れ過ぎていませんか？ 5m以内が目安ですが、場所によってはノイズが発生することもあります。 少し移動してください。 ・送信機のバッテリーまたは受信機の電池交換記号は表示されていませんか？ ・混信してることはもあります。送信機及び受信機のチャンネル番号 を別なチャンネルに設定してみてください。
充電できない	・「ACアダプタ」及び「充電用USBケーブル」の接続を確認してください。 ・商用電源は供給されていますか？
充電が完了 しない	3時間以上経過しても●POWER/Charge LED(赤)が点灯しなければ故障です。 →販売店にご連絡ください
すぐ使えなく なる	充電しても改善しない場合は、バッテリーの寿命と考えられます →販売店にご連絡ください
※対策を行っても改善しない場合は、購入した販売店様にご連絡ください。	

□お手入れ

ご使用後は清掃を行い、適切な環境(⇒8)で保管してください。

汚れたままで放置すると不衛生で故障の原因にもなります。

清掃・消毒を行う際は、下記に示した内容に注意して作業を行ってください。

	<ul style="list-style-type: none">・ガス滅菌等による消毒は絶対に行わないでください。・活性ガス(消毒用ガス等も含む)環境や高温・多湿環境等で絶対に使用・放置しないでください。・シンナー等の有機溶剤、ポリドンヨードでは絶対に拭かないでください。・ドライヤー等の熱風で絶対に乾燥しないでください。
---	--

清 掃

- ・本体は、ガーゼ等の柔らかい布を水またはぬるま湯に浸し、よく絞ってから拭き取ってください。
- ・本体内部に、水や消毒液が浸入しないように水気をよく切ってから清掃してください。
- ・乾燥は乾いた柔らかい布で水気をよく拭き取り、自然乾燥してください。

保証書

此の度は、弊社の製品をお買上げ頂き有難うございました。
未永く御愛用の程、お願い致します。弊社は、下記の通り製品保証を致しておりますので、この保証書は大切に保管してください。

※お買上げ日	年 月 日
保証期間	お買上げ日より 1年間
※施設名	
氏名	
※住所	〒
※電話番号	
製品名	ベータフォンII FM送信機セット (0260B001) 製造番号
※販売店名 住所 TEL/FAX	

販売店様へ ※印の欄を必ず記入してからお渡し下さい。

保証規定

- 取扱説明書・本体貼付ラベル等の注意書にしたがった正常な使用状態で、お買上げ日より1年以内に故障した場合に無償修理致します。
- 無償修理期間内でも次の場合は有償修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買上げ後の落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や電源の異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
 - (ニ) 本書の提示がない場合。
 - (ホ) 本書にお買上げ日、ご使用者名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (ヘ) 故障の原因が本品以外に起因する場合。
 - (ト) その他取扱説明書（本書）に記載されていない使用方法による故障および損傷。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管して下さい。
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

発売元

ケンツメディコ株式会社

埼玉県本庄市児玉町共栄5 5 2番地1 〒367-0206
TEL(0495)71-1001 FAX(0495)72-6716
ホームページ <http://www.kenzmedico.co.jp>

お問合せ先

※都合により仕様及び外観等を変更する場合があります。予めご了承ください。
※許可なく複写、複製することを禁じます。